

令和6年3月28日

千葉大学学長選考・監察会議  
議長 宮坂 信之 殿

千葉大学ユニオン 委員長  
久住 庄一郎

## 要 求 書

千葉大学ユニオンは、令和6年1月25日に公示された学長選考結果に関連し、令和6年2月2日に以下の要求書を提出しました。それに対応するものとして、令和6年3月14日付けで「学長となるべきものの選考理由等について」なる文章が貴会議から公開されましたが、公開されたその文書は千葉大学ユニオンが要求した以下の4点のうち、

2. 3. 4. については無回答であります。また、1. についても横手候補のみの業績評価に終始しており、我々の要求に対して十分な説明を果たしているとは到底判断できないばかりか、やはり公開されている令和5年度第6回学長選考・監察会議議事録の内容とも大きく乖離しています。よって、ここに改めて、以下の4点の要求各々に対し、合理的かつ詳細な説明を迅速に行う事を要求します。

なお、特に4. について、教職員との意見交換を円滑に図る意味からも、対面での説明会開催を強く要求します。

1. 千葉大学学長選考規程の、第16条2「学長選考・監察会議は学長となるべき者および選考理由を公示する」及び、第18条「学長選考・監察会議は、学長となる者として選考された者について、当該選考の結果、当該者を選考した理由および選考の過程を公表する」に基づいて、選考理由についての十分な説明を行うこと。

特に、説明に当たっては、学内意向聴取において大きな得票数差があったにもかかわらず、敢えて得票数第2位の候補を学長として選出したことについて、学長選考・監察会議に於ける僅差な投票結果以外の、合理的かつ詳細な理由を説明すること。

2. 既に教職員のみならず、学生や卒業生の間でも困惑・不満の声が出ていること  
([https://www.change.org/chiba-u\\_gakuchosen2024](https://www.change.org/chiba-u_gakuchosen2024)) に対して、適切に対処すること。加えて、上記サイトに於いて千葉大学学生卒業生有志の行っている貴会議宛での署名活動で集まった一万五千件余の署名を、千葉大学ユニオンが委嘱を受けて提出するので、それを受理し、適切な説明を行うこと。
3. 学内意向聴取の重要性・意義について、学長選考・監察会議としてどのような見解を持っているかを明らかにすること。
4. 上記の内容について、ユニオン宛て文書で迅速にご回答頂くと共に、全教職員を対象とした質疑応答を含む説明会を早急に開催すること。

なお、回答についてはユニオンのホームページ上で公開されることを申し添えます。

以上